

図 1 . 1 0 沈降スラブ上面の測深と推定による位置についての、日本海溝沿いの JT と JH 断面線 (PLATE1 参照) での比較 (After Kao & Chen(1996), JGR, 101, B12, 27,811-27,831)

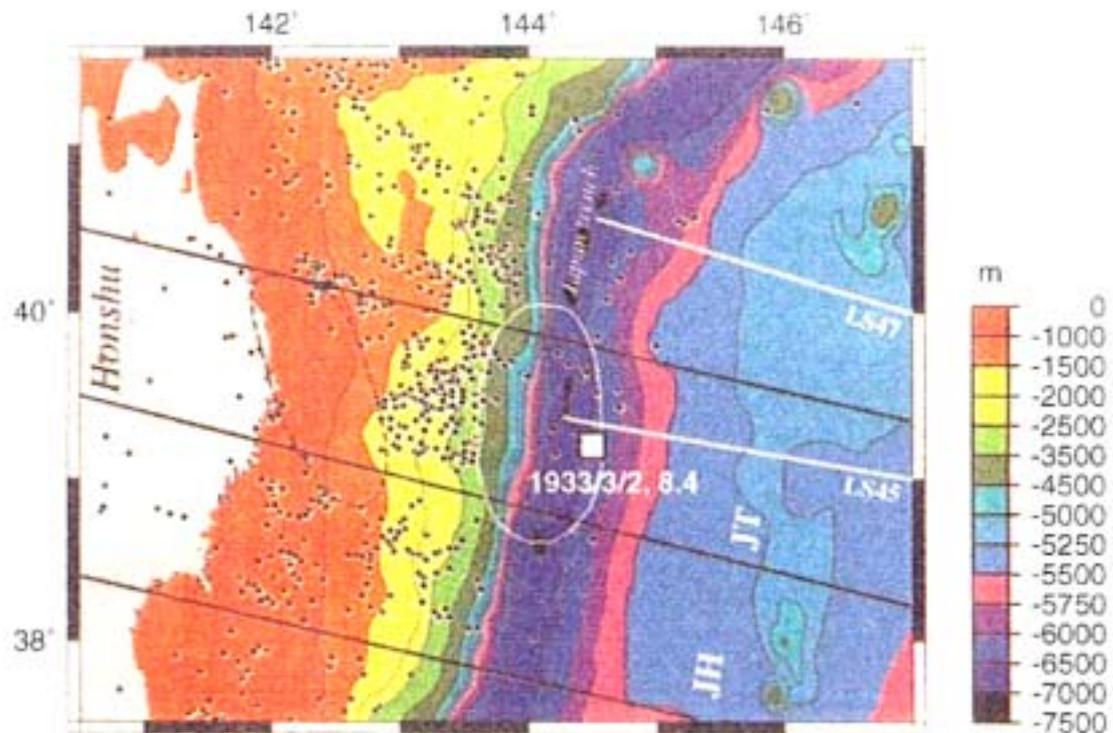
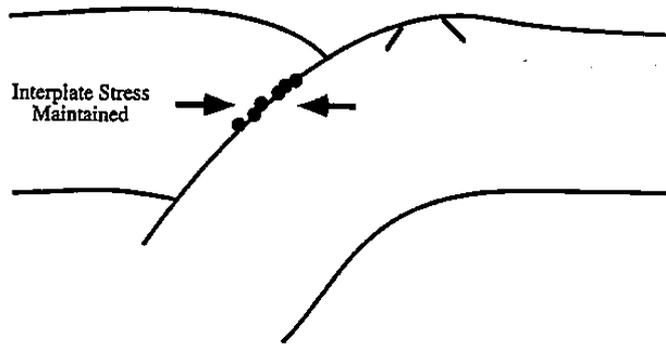


図 1 . 1 1 本州沖の日本海溝外部上昇斜面付近で発生した 1933 年の三陸地震 () 周辺での地震活動度と海底地形 (PLATE1: After Kao & Chen(1996), JGR, 101, B12, 27,811-27,831)

(a) Unsaturated in Bending Moment



(b) Saturated in Bending Moment

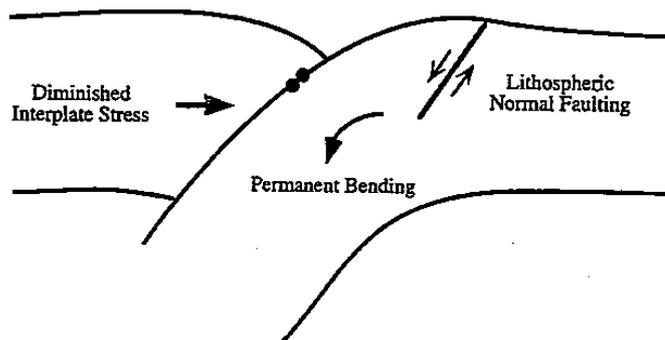
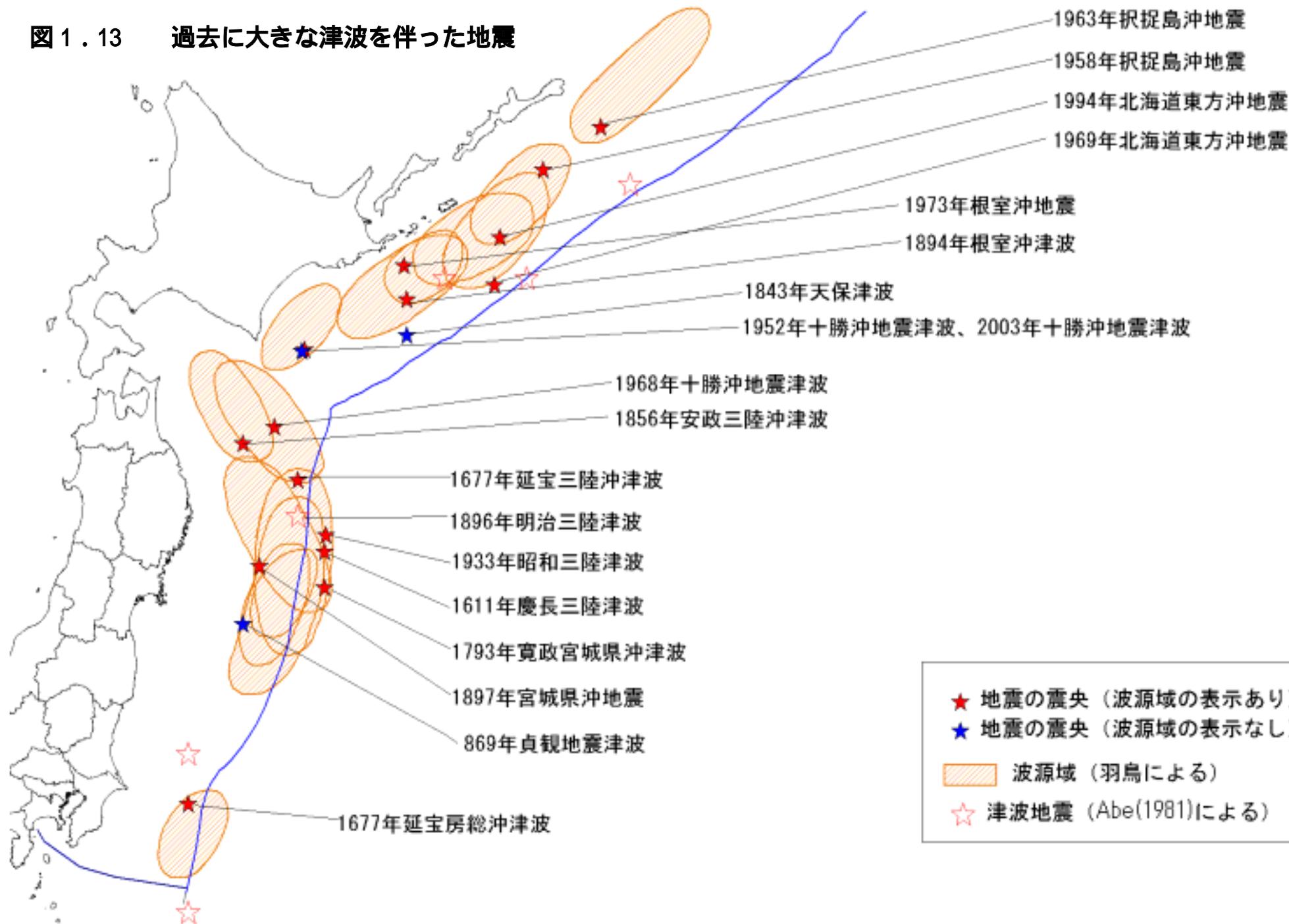


図 1 . 1 2 本州弧全面の外部上昇部における沈降プレートと地震活動の間の観測された相関を解釈した模式的断面 (After Kao & Chen(1996), JGR, 101, B12, 27,811-27,831)

図 1.13 過去に大きな津波を伴った地震



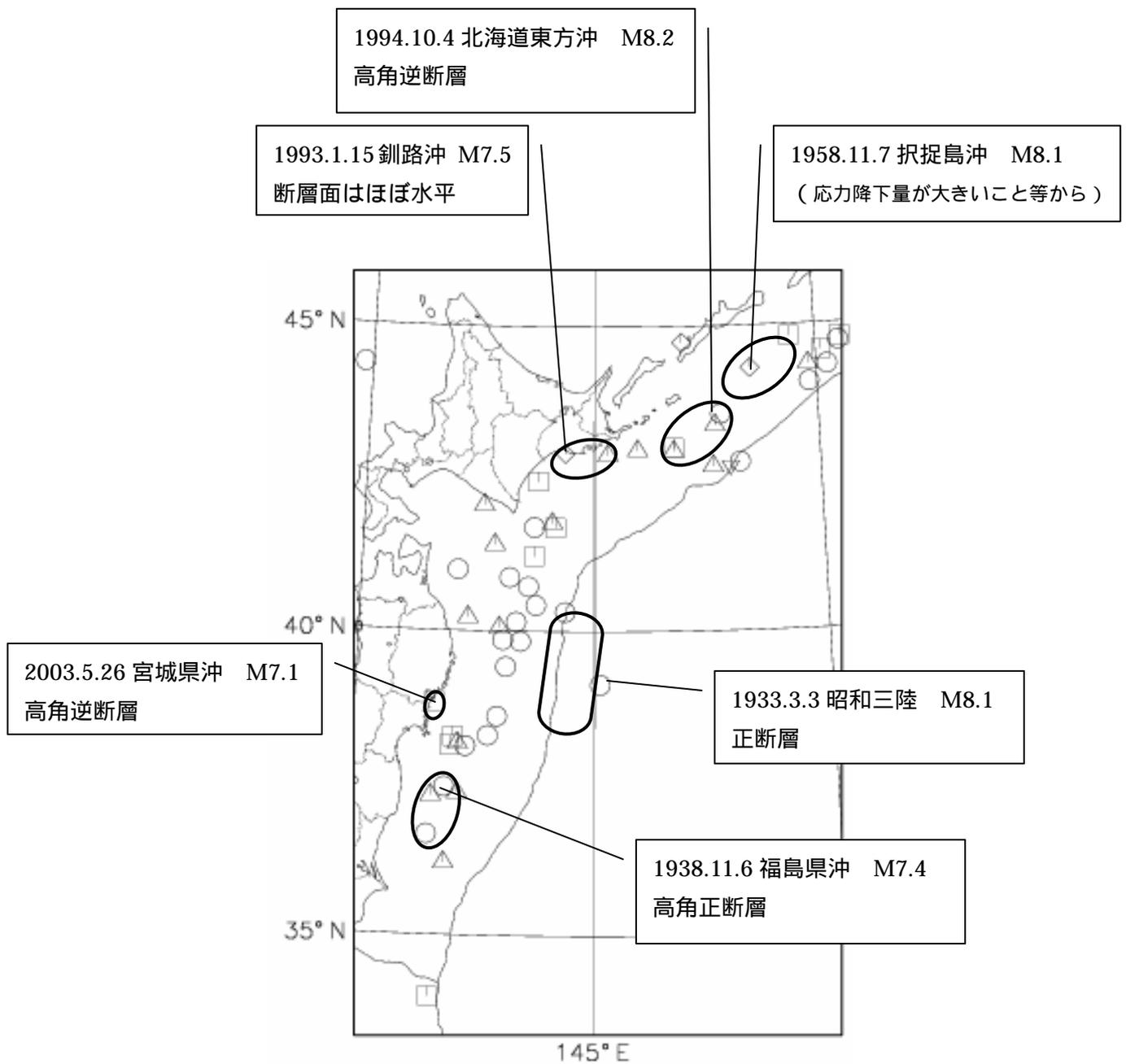


図1.14 1926年1月～2003年12月の地震 ($M \geq 7.0$, depth 120 km) のうち、プレート内地震と考えられているもの

図 1.15 千島海溝沿いの震央分布図 マグニチュード4.5、深さ120kmより浅い地震

1923 01 01 00:00 -- 2003 09 30 24:00

N=4930

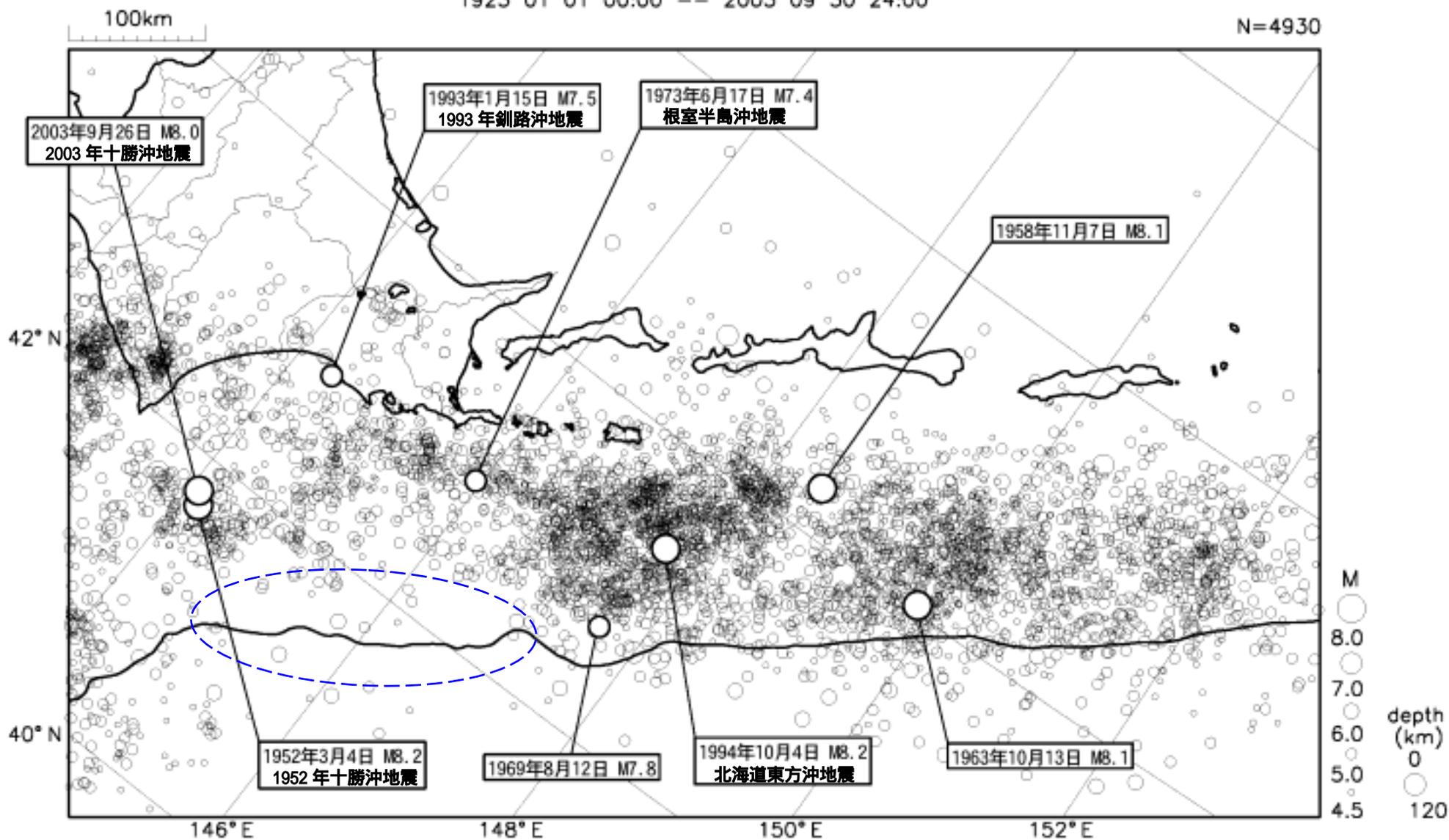
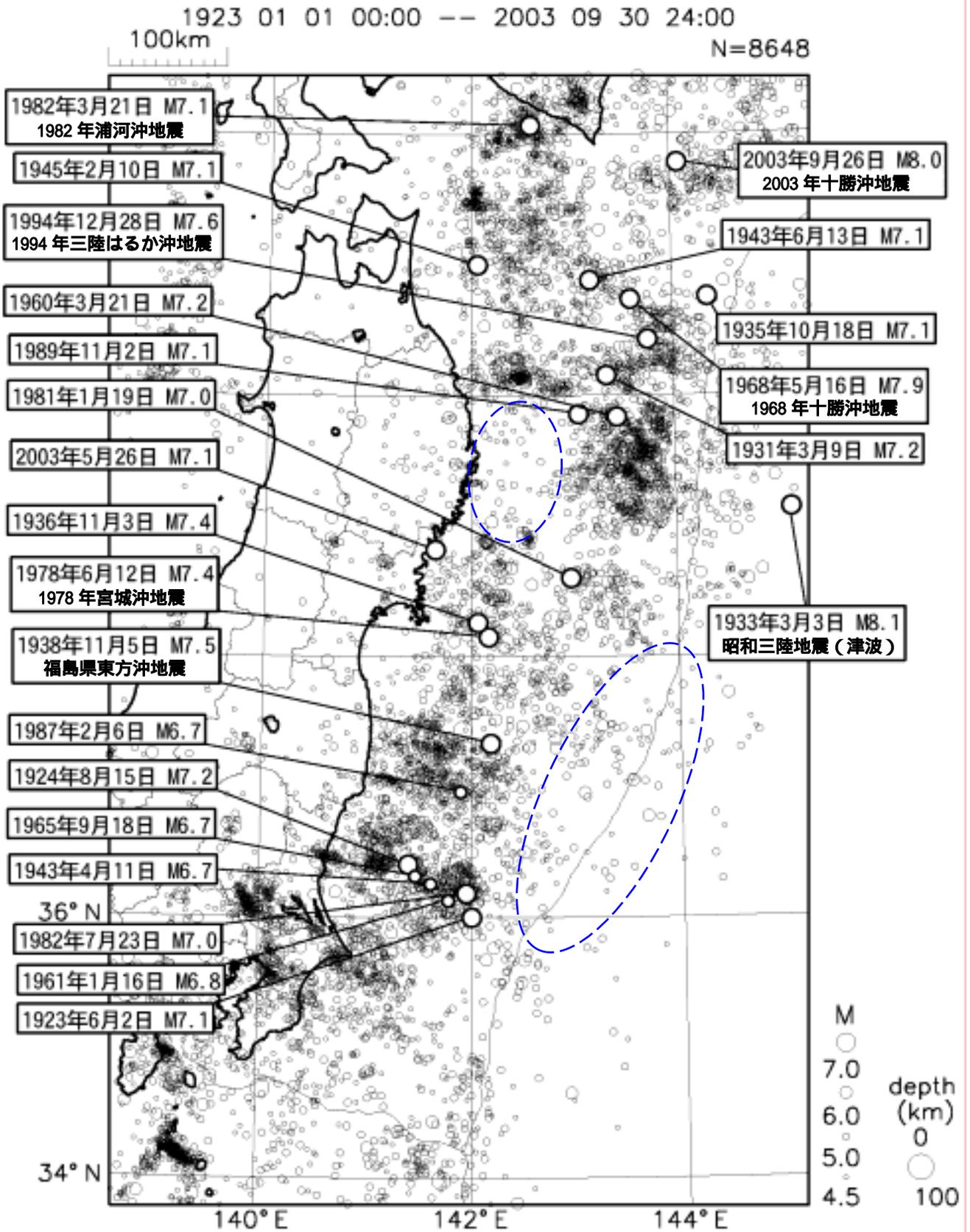


図 1.16 三陸沖の震央分布図 マグニチュード4.5、深さ100kmより浅い地震



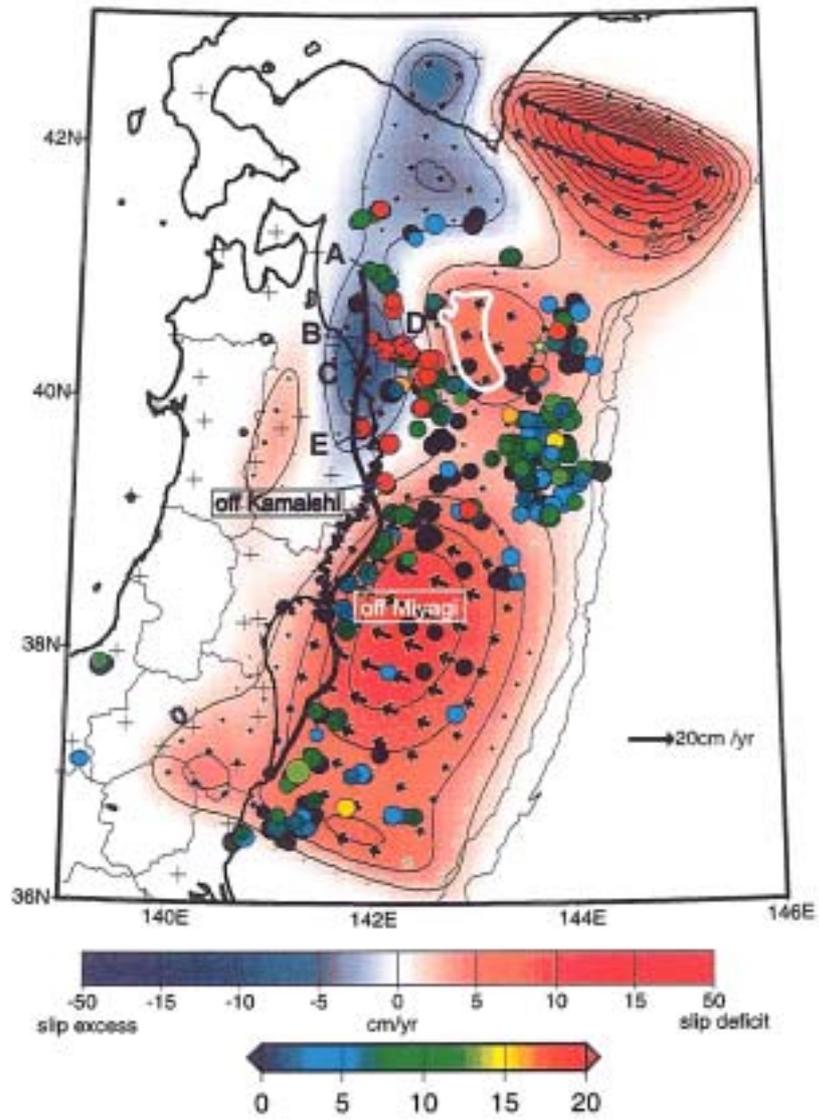


図 1 . 1 7 G P S 及び繰り返し地震解析で得られたプレート間スリップ分布
 (after Igarashi et. al. (2003), JGR, 108, B5, ESE8)

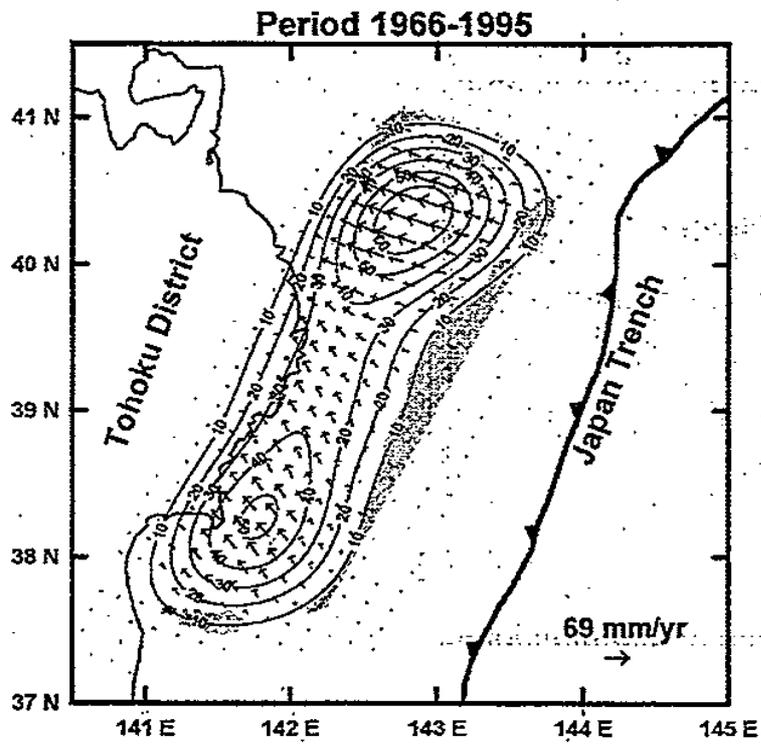


図1 . 1 8 地殻変動測量から推定されたプレート間カップリング
 (after El-Fiky & Kato(1999), JGR, 104, B9, 20, 361-20,377)

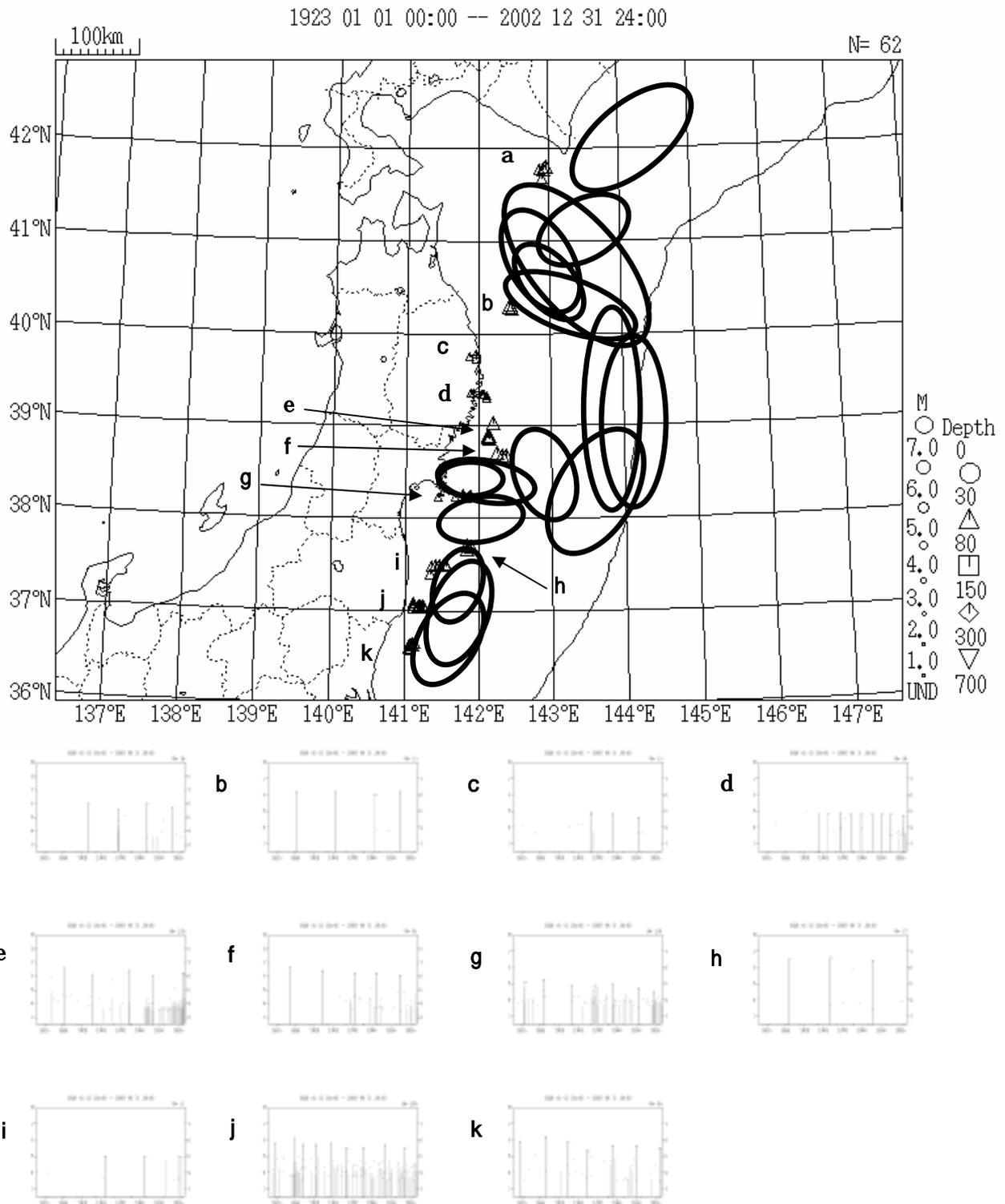


図 1 . 1 9 固有地震的地震活動の可能性のある場所

(図中記号が固有地震的地震活動の可能性のある場所で、 図中楕円は過去の発生した大規模な地震の震源域を示す)

(長谷川ほか(2004)による)